【中央労働金庫ウェルビーイング取組方針戦略マップ】

投資内容

中央労働金庫健康経営宣言
（理事長メッセージ）

第８期中期経営計画

ウェルビーイング取組方針

４本の柱

健康経営分野

- 健康自律
  - 健康管理態勢構築による充実した職員サポート
  - 健康診断・事後処置徹底による健康増進
- 健康管理（からだ／こころ）
  - 過重労働対策実施による職員の安全への配慮
  - メンタルヘルス対策強化による一次予防
  - 受動喫煙対策実施による職場環境の整備

働き方改革分野

- 労働時間管理
  - 意識改革による長時間労働の抑制
  - 年休取得拡大によるワークライフバランスの実現
- 女性活躍・両立支援
  - キャリア支援を活用した職員のキャリア意識強化
  - 多様な人材が活躍できる組織風土の醸成

健康経営優良法人継続取得

投資結果

ウェルビーイング推進に向けた取組施策

- 健康情報の一元管理 情報発信の強化
- 朝食欠食者等へのモニタリング実施
- 福利厚生における健康コンテンツ拡大
- ウォーキングイベントの開催 シニア健康課題への情報発信
- 健診予約業務のアウトソーシング化
- 健康管理システムによる受診状況の把握・管理
- 受診勧奨フローの見直し 受診拒否者の面談実施
- 長時間労働者への独自基準での産業医面談実施
- ストレスチェックの実施強化 集団分析結果の活用拡大
- メンタルヘルスに対する正しい知識の提供
- 禁煙支援プログラムの周知拡大
- 10活・R-DAY・ライトダウン運動の継続実施
- 労働時間・年休取得の業績評価制度への反映
- 年休プラス8拡大による年休取得促進
- 評価面談時等におけるキャリア相談・支援の実施
- 育児介護休業法等改正に伴う職員への周知徹底
- 介護対象者の把握および制度周知

職員の意識変容・行動変容に関する指標

- 健康リテラシーの向上 ３．５点以上
- 生活習慣の維持・改善（食事・睡眠・運動） ８０ ％以上
- 定期健診・重点項目精検受診率の維持・向上 １００％
- 健康強調月間参加率の向上 ５０％以上
- 非高ストレス判定率の向上 ９５％以上
- メンタル休業率の低減 １．２％未満
- 喫煙率の削減 １６％未満
- 【管理職】総労働時間の削減 月平均１７５時間以内
- 【組合員】時間外労働の削減 月平均１６．５時間以内
- 年休15日以上取得者数 ９０％以上
- 女性管理職の増加 １５％以上
- 50歳未満女性監督職の増加 ８０％以上
- 男性育休取得率の向上 ６５％以上
- 配偶者出産休暇取得率の向上 １００％
- 対象者への制度周知 １００％

健康経営優良法人認定、金庫内外への周知

最終的な目標指標

- プレゼンティーズム（※１）改善 １５％以下
- アブセンティーズム（※2）改善 ２．５％以下
- 働きがい（ワークエンゲージメント）（※３）向上 ２．６点以上

※1 出社はしているが、心身の健康上の問題で仕事の効率が落ちている状態
※2 欠勤や休職など、心身の不調により出社できない状態
※3 主体的に仕事に取り組んでいる心理状態を表す。仕事から活力を得て、仕事に誇りを感じ、職員が生き生きと仕事をしている状態

解決したい経営課題

すべての職員が健康で生き生きと働くことのできる職場の実現をめざす

生産性の向上や医療費負担の削減、さらに成長性のある企業として社会的価値の向上をめざす